

平成30年9月16日  
今週のベストショット



雁レク軟式3 レッドサンデーズ 対 三苦ホーネッツ戦

五回裏、右中間へ均衡を破るタイムリー二塁打を放つ三苦ホーネッツ新人の只松輝大選手（18）。

写真：ブルーマーリンズ 末松 勝祝

奈多グラウンド フェニックス投打が噛み合い快勝！

和白新町パイレーツ（4勝4敗2分） 1 0 0 0 0 1 吉田●-大濱

奈多フェニックス（6勝3敗） 2 0 3 1 X 6 今林（勇）○-実延（新）

HR：能丸（奈多フ） 3BH：能丸（奈多フ）

初回、和白新町パイレーツは一死後、二番八坂選手がセンター前ヒットで出塁すると、送りバントとPBで三塁へ進む。その後四番大濱選手のショートゴロが悪送球となり、ランナーが生還し先制する。対する奈多フェニックスはその裏、二番福島選手がセンター前ヒットで出塁。続く三番能丸選手のライナーをセンターが後逸する間にバッターランナーも生還し逆転。二回は両投手とも本来のピッチングを見せ、特にパイレーツ吉田投手は三者連続三振に打ちとるなど投手戦の様相を呈してきた。しかし三回裏フェニックスは二番福島選手が絶妙のバントヒットで出塁すると、三番能丸選手が見事左中間へHRを放ち2点追加。更にこの回1点を加え5-1とする。何とかしたいパイレーツは、走者は出すものの後続が倒れ点を奪えない。逆にフェニックスは四回裏、またも能丸選手の三塁打からダメ押しの1点を追加。結局、パイレーツはフェニックス今林（勇）投手を2安打と最後まで崩せずフェニックスの快勝となった。（記事・写真：ソルトベイスターズ 田中 裕次郎）





試合前挨拶。



パイレーツを2安打に抑えたフェニックス今林（勇）投手。



パイレーツ先発の吉田投手。



一回裏フェニックス福島選手、センター前ヒットを放つ。



一回裏ライナー性の打球に食らいつくも・・・。



バント処理をするフェニックス西藤三塁手。



ファールぎりぎりのフライを処理する西藤三塁手。



会心の当たりでHRを放ったフェニックス能丸選手。





強いゴロを処理するパイレーツ佐々木一塁手。



ファールボールが直撃しあっちへ打てと指示。



フェニックス実延（新）選手の意表をつくバント。



3安打3打点と大活躍のフェニックス能丸選手。



フェニックスダメ押しの6点目。

### 雁レク軟式3 シーソーゲームの行方は??最終回に決着!

レッドサンデーズ (4勝6敗) 000001 1 塚本●ー八島

三苦ホーネッツ (8勝1敗1分) 000014 5 川原○ー廣木

2BH: 只松、廣木 (三苦ホ) 盗塁: 井手、矢野 (義)、稲葉 (三苦ホ) 川原2、古賀 (レッド)

昨日の雨のせいもあり、ベンチにぬかるみがありながらも先週猛打爆発のホーネッツVS上位を脅かすレッドサンデーズの対戦は、レッド塚本投手、ホーネッツ川原投手の両エースの先発で試合開始。一回表レッドの攻撃は、一番川原選手がいきなりエラーがらみで出塁するも、続く二、三、四番が川原投手の前に連続三振でチャンスを掴めず。一方のホーネッツは、こちらも塁に出すとやっかいな二番井手選手が内野安打で出塁。続くホーネ



ツツ強力打線の三番、四番だったが、あえなく凡退。両投手順調な立ち上がり。二回以降は、川原投手はライズ、ドロップ、チェンジアップと圧巻のピッチングを披露し、レッド打線を五回終了時までノーヒットに抑え込む。一方の塚本投手も負けていない！コースをつく絶妙のコントロールにて四回まで得点を与えず、双方無得点で迎えた五回裏ホーネットスの攻撃。七番川原選手がセカンドエラーで出塁すると、一死後に迎えるバッターは、今季新加入初打席の只松選手。好投を続けていた塚本投手から追い込まれながらもストレートを右中間へ値千金の二塁打を放ち、ようやく均衡を破る待望の先制点！何とか追い付きたいレッドは六回表、一番川原選手がサード内野安打、すかさず盗塁にて絶好のチャンスを迎えると、一死後三番古賀選手に打順が回る。ここまで二打席三振の古賀選手、今まではタイミングではなかった（笑）と言わんばかりに、センター前に意地の同点打を放つ！盗塁にて三塁まで進み続く四番八島監督兼選手へ期待がかかるが、打球はセンターフライ。あともう1点欲しかったと悔しさを全面に出した。同点のまま迎えた六回裏ホーネットスは、出塁するとやっかいな二番井手選手が四球、続く矢野（義）選手のバントが投エラーを誘い、無死二三塁。ここまで凡退の四番廣木選手を迎える。打ち取ったと思われたレフトへの打球が、なんと廣木シフトにて下がっていたレフト前にポトリと落ち、二者が生還！！待望の追加点をもぎとる！こうなると疲れが見えはじめた塚本投手に続く稲葉選手、矢野（雅）選手が襲い掛かり更に2点追加しタイムアップで試合終了！この試合、両エースの投げ合いでなかなか得点できずにいたが、ランナーに出ると、必ず足を使って相手にプレッシャーを与え、疲れが見えはじめた塚本投手の失投を見逃さないホーネットス打線の徹底ぶりが結果となった試合でした。（記事・写真：ブルーマーリンズ 末松 勝祝）



試合開始の両監督握手。



二回裏、稲葉選手のセンター前ヒット。



二回裏、川原選手のライト前ヒット。



四回裏、ホーネットス中村監督の激が飛ぶ！





五回裏、均衡をやぶる値千金の先制打！只松選手！



五回裏、喜びのガッツポーズ！塚（恭）選手！



五回裏、先制のホームイン！



六回表、意地の同点打を放つレッド三番古賀選手！



六回表、レッド川原選手必死の同点ホームイン！



六回表、逆転なるか？！レッド四番八島監督兼選手！



六回裏、何とか押さえないレッドのタイムアウト！



六回裏、あ、、、打ち取られたか？廣木選手のポテンヒット！





六回裏、井手選手追加点のホームイン！！



六回裏、ダメ押し of 二者生還！



六回裏、ホーネットス代打山崎選手！



本日のヒーロー！只松選手、川原投手、廣木捕手！

### 青松園B 好投手対決！

三苦フレンズ（9勝1敗） 1 1 0 0 1 1 4 山口○-佐藤（由）  
 奈多クラブ（6勝3敗） 0 0 0 0 0 0 0 今林（瑠）●-安河内

3BH：生野（猛）（三苦フ） 2BH：生野（猛）（三苦フ） 盗塁：生野（拓）（三苦フ）

和白リーグを代表する好投手同士の先発で始まったこの試合は初回、三苦フレンズの攻撃は、一死から四球でランナーを出すとパスボールで二進され三番生野（拓）選手のタイムリーヒットで奈多クラブ今林瑠投手から幸先よく先制点をもぎ取る。一方初回の奈多クラブの攻撃は、一番今林（祐）選手が中前ヒットで出塁するも後続が三苦フレンズの好投手山口投手の前に次々と三振にとられ、なかなかチャンスを広げられない。二回表にも二死からフレンズは九番生野（猛）選手のタイムリー三塁打で1点追加。その後も両投手が三振の山を築く中、試合が動いたのは五回表。好投を続けているフレンズ四番山口投手のタイムリーヒットでフレンズが突き放す。その裏優勝争いに何とか残りたい奈多クラブが意地を見せる。二死から九番今林（辰）監督自ら意地のヒットで出塁すると、一番今林（祐）選手も四球を選び、パスボールなどでチャンスを広げる。しかし粘り強いピッチングを続ける山口投手の前にチャンスを活かすことができない。六回表、フレンズ九番生野（猛）選手が二塁打を打ち、その後エラーでさらに1点を加え、三苦フレンズが優勝へ近づく大きな一勝になった。両投手合計21奪三振という壮絶な投げ合いの中、ベテラン選手の活躍が大いに目立った試合となった。

（記事・写真：奈多サンデース 野々下 利生久）





奈多クラブ先発の今林瑠生投手。



三苦フレンズ先発の山口投手。



二回表、激走する三苦フレンズ生野（猛）選手。



四回裏、際どいコースに投げ分け三振を取る山口投手。



あと少しの所でファインプレーを逃す今林（祐）遊撃手。



意地のヒットを放つ奈多クラブ今林（辰）監督。



本日大活躍の三苦フレンズの選手たち。



## 青松園A 投手戦の末…

三苦三球会（5勝5敗1分） 2 0 0 0 0 0 2 池上●—藤澤

三友クラブ（8勝2敗） 0 0 0 3 0 × 3 足達○、平田—谷崎

2BH：平田（三友ク） 3BH：中内（三友ク） 盗塁：松尾、大津2（三球会）

三球会は一回表、先頭の一番藤澤選手が四球で出塁すると二番松尾選手の犠打で進塁する。続く三番大津選手の内野安打で先取点のチャンスを広げ、続く四番半田選手は三振を喫するも二死ながら二三塁の場面で五番堺（和）選手の中前打で2点を先制する。一方三友クラブは三球会先発の池上投手の前に三回までわずか1安打に封じられ、本塁までが遠い。しかし、四回表三友クラブは先頭の二番坂本（結）選手が四球で出塁すると、続く三番坂本（歩）選手の放った打球は三遊間への深い当たり。これを三球会大津遊撃手が好捕するも、どこにも投げることができず内野安打。これで三友クラブは無死一二塁と絶好のチャンス。ここで四番中内選手が、見事右翼線に走者一掃の適時三塁打で同点とする。続く五番木村選手の打席に暴投で走者が生還し、三友クラブは逆転を果たす。直後の五回表、三球会は一死満塁と逆転の最大のチャンス。しかし、途中出場の五番堺（太）選手、六番池上選手と連続三振に倒れ、あと一本が出ない。結局このまま三友クラブが逃げきり、今季二勝目。三友クラブは安打数わずか3本であったが、少ないチャンスを生かすことができたことと、足達、平田両投手の好投リレーで勝利をつかんだ。（記事・写真：雁の巣ライナーズ 明瀬 旭）



三友クラブ 先発の足達投手。



一回表、三球会が先制のホームイン。



三苦三球会 先発の池上投手。



四回裏、三友クラブ同点のホームイン。





三友クラブ二番手、平田投手。



五回裏、チャンスを広げる四番半田選手の中前打。

## 第19週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第19週、9月16日は4試合が行われました。

奈多グラウンドの和白新町パイレーツ対奈多フェニックス戦は、1点は失ったもののフェニックス今林勇太投手が2安打に抑えれば、三番能丸選手が単打、HR、三塁打を放ち3打点。相手のミスにも乗じて終始フェニックスペースで進み、1-6でフェニックスの勝利。

雁レク3のレッドサンデーズ対三苦ホーネッツ戦は、レッド塚本投手、ホーネッツ川原投手の好投でなかなか均衡が破れない。五回裏ホーネッツが新人只松選手のタイムリーで先制しレッド古賀選手のタイムリーで追いつく展開。しかし疲れが見えた塚本投手の四球とバント処理ミスにつけ込んで三連打を集め、1-5でホーネッツの勝利。レッドは試合前の準備の段階から人数問題でバタつき、とても試合に臨む体制ではなかった。

青松園Bの三苦フレンズ対奈多クラブ戦は、四球を足がかりに4点を挙げたフレンズ。特に生野父子の活躍が目立った。父・生野猛選手は三塁打、二塁打を放ち、息子の拓磨選手は先制打を含む2安打。投げてはフレンズ山口投手が4安打されるも五回まで二塁を踏ませず、結局4-0と昨年覇者を完封。奈多クラブは連敗で優勝戦線から後退。

青松園Aの三苦三球会对三友クラブ戦は、初回ベテラン堺和彦選手の2点タイムリーで先制するも、四回裏三友クラブは、好投手の池上投手から四球を足がかりに四番中内選手の同点タイムリーとWPで逆転。毎回2三振を取られていたが、ここしかないチャンスをしっかりモノにした三友クラブは、足達投手の粘りの投球もあり、2-3で逆転勝利。

優勝争いも三苦ホーネッツと三苦フレンズに絞られたようです。

他チームも順位を一つでも上げるように、個人成績も上げるように、ラストスパートを！